

凡事徹底を考える

本日10日と明日の11日は、大阪府の私立高校の入試です。本校から多くの3年生が各高等学校で受験に臨んでいます。一段と厳しい寒さが続いているが、体調に留意して最後までがんばってほしいと願っています。

さて、3学期が始まって約一か月となりました。1月8日の始業式では、「ていねいに目標を立てよう」というお話をしました。次は、新しい目標に基づいて行動に移していくことが大切です。「行動に移す」ことについて、「凡事徹底」という言葉についてお話をします。この言葉は、1月の1年生の学年目標や今月の体育委員会の目標にも掲げられています。大事な意味を含んでいる言葉だと思います。

「凡事徹底」の「凡事」は「平凡な事」と書きます。「凡事徹底」とは、誰もができるような平凡なことや小さなことを、徹底してやり続けよう」という意味です。「凡事徹底」について、大切なのは「凡事」の中身だと思います。

毎日の学校生活においても、時間を守ることや挨拶をすること、服装を正すこと、朝、読書に集中することなどは、平凡で当たり前のことのようですが、規律のある学習の場や価値ある学びの構えをつくることに結びついていくことでしょう。

スポーツや芸術の分野では、基礎的な動作や基本の技を、繰り返し練習して、身に付けていくことが上達への道を拓いていきます。

夢をかなえたり、目標を達成したりするためには、平凡で当たり前のこと、基本となることを、誰にも負けないぐらいにコツコツとやり続ける努力にかかっています。

今、自分にできる当たり前の平凡なことや小さなことでも、続けると習慣になります。習慣になると力となります。力がつくと、いろんなことに挑戦できるようになります。目標の達成にも近づいていくことでしょう。

「凡事」の内容を自分自身のことだけでなく、人のためになることであれば、身の回りの環境や社会をよりよくしていくことにつながることでしょう。「私のための凡事徹底」と「私たちのための凡事徹底」が、結びつくことで、よりよい自分、よりよい社会、よりよい未来を築いていくことにつながるのではないでしょうか。

※全校集会での講話の内容に加筆・修正しています。